



栗城さんが自宅で見つけたニホンヤモリ（栗城さん提供）

ニホンヤモリ 若松で初確認

県内での確認例が少ない爬虫類「ニホンヤモリ」が会津若松市で発見された。会津地方で見つかった例は珍しく、県レッドリスト爬虫・両生類部会の稲葉修部会長(58)によると、会津地方では2015年に喜多方市の住宅内で見つかったことが確認されているが、会津若松市での発見事例はないという。

温暖化で今後、生息域拡大か

今回確認された個体は全長10・5センチほど。ニホンヤモリの特徴である灰褐色で濃淡があった。稲葉部会長は「船や車などの積荷などにまぎれた個体が、人の手を介して運ばれ、その場所ですべて生きていくこともある。地球温暖化が進む現在、各地で生息を確認できる可能性はある」と指摘した。ニホンヤモリは、会津生

物同好会で会長を務める栗城英雄さん(77)が会津若松市の自宅で見つかった。会津若松市身近な生き物基本調査会議の委員で喜多方高の菅原宏理教諭(56)がニホンヤモリと確認した。栗城さんは「昨年8月に自宅ですべて見つかった。今年も出てくるか」と待つていたら7月ごろから確認することができた」と話した。

ニホンヤモリ 国内では本州から九州にかけて広く分布し、近年は北海道からの確認記録もある。稲葉部会長によると「ニホンヤモリ」という和名だが、遺伝的な解析結果も踏まえると、温暖な気候の中国南東部が原産の国外外来種であると考えられている。

▲ 9月4日 福島民友新聞掲載

ヤモリは漢字でどう表現するか知ってますか？また、どうしてその漢字がつけられるのでしょうか？



記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。

(When) いつ発見された？

(Where) どこで

(Who) 誰が発見

(What) 何が

(How) どのような姿？

(Why) なぜ越冬した可能性が高い？